

桜蔭俳話会

第一〇九回通信句会 選句結果

(平成二十五年春。選句数八句。特選には○をつける)

- | | | | | | |
|------|------------------|-----|-----|------------------|------------------------------|
| 3点 | 一山は開花真近し坂の寺 | 幸枝 | 1点 | 丹沢山衣替えして新緑に | 忠夫 |
| 2点 | 思はずにスキップふたつ花の雨 | ツル子 | 9点③ | 登り来て颯ひとりの余花の寺 | ツル子 |
| | 春意ふと椰子に風あるキャンプ場 | 明美 | 1点 | 山間の村を彩る花の舞 | 正子 |
| 8点 | 新しき友の名告げり入園児 | 友子 | | 春の音や唄つて踊るコンサート | 真三 |
| 6点③ | 春めくや船の描きし白き水脈 | 幸子 | 3点 | 花冷や大川跨ぐ大橋も | 幸子 |
| 6点 | ふさぎの虫雀の鉄砲吹き鳴らす | ヤエ子 | 4点 | 細き蔓しなやかに巻く豆の花 | 幸枝 |
| 1点① | 春の雲富士の雪景見え隠れ | 忠夫 | 4点 | 春浅し叙の雨降る寺の門 | 梅乃 |
| 5点 | 燕の真一文字や大手門 | 幸 | | 風幽か微笑み合うたり鬱金香 | ヤエ子 |
| 1点 | 白銀の原野縫ひゆく春列車 | 安紀子 | 3点 | 菜の花を飾るテーブル酒進み | 忠夫 |
| 2点 | 観光のバスに春眠忍びよる | 邦子 | 5点① | 遠き灯に泛ぶ来し方春の雨 | 秀一 |
| 7点 | 年重ね歩く歩幅の山笑う | ゆき乃 | 4点 | 花いかだ川の流れの速さほど | のり子 |
| | 春の宵コーヒにジャズすつきりす | 真三 | 6点① | 一族の遺伝子になき花粉症 | 明美 |
| 4点① | 享保雛澄んだ眼で座す古屋敷 | のり子 | 1点 | 朝もやや君と逢ひしは春の夢 | 正子 |
| 3点 | 老木に出でし新芽に桜咲く | 美紀子 | 2点 | 花冷や真白き壁の聖母像 | 守 |
| 2点 | 一面のタンポポの庭夢のあと | 直子 | 3点 | 鬼籍の人又会ひにけり春の夢 | 幸枝 |
| 5点 | 落花踏み百九段の磴のぼる | 梅乃 | 7点 | さべづりを森林浴の友として | 友子 |
| 7点 | 春光のあまねし鯉の太りをり | 秀一 | 3点 | 通勤も花見と化して苦が楽に | 美紀子 |
| 10点④ | 古書店の私はずに置く花の屑 | 守 | 6点① | 梅日和木々の名札を諳ずる | 幸子 |
| | 青嵐や激しさ語る折れた傘 | 正子 | 1点 | 沙羅双樹同胞元氣よ兄の阿闍忌 | 幸 |
| 1点 | ホーホケキョケキョケキヨの姿なし | 直子 | | | (五十回忌) |
| 4点 | 振り返り振り返りつつ花の道 | 邦子 | 3点 | うとうととテレビは便利春炬燵 | 直子 |
| 2点 | 新駅員方向びたり白手袋 | ヤエ子 | | 春眠の終わらぬ夢や鳥の声 | ツル子 |
| 3点 | 桜餅かぶる手拭はづしけり | 秀一 | 7点① | 髪切つてさららふわふわ春が来た | 安紀子 |
| | 花吹雪追う犬追つて見る間なし | 美紀子 | | 大池の餌とるすばし残る鴨 | 真三 |
| 4点 | 時超えて古里優し桜花 | 安紀子 | 4点 | 幼な子や笑顔片手にカーネーション | 邦子 |
| 7点① | クレソンや水切りカゴの美しき水 | 明美 | | | (特選○印無しの方が一人おられましたこと付記いたします) |
| 2点① | 春眠の果てなる永遠の眠りかな | 守 | | | 「お断り」高得点句作者の自句自解文は、六月定例句会のま |
| 3点 | 葉桜の風にさやさや舟地蔵 | 幸 | | | とめと一緒に発送いたします。 |
| 8点① | 行春や置屋の残る路地の猫 | 友子 | | | |
| | 山野いま花の開花を整へり | 梅乃 | | | |
| 9点④ | 船頭の槽のなめらかや水温む | のり子 | | | |

得点順

十点

④古書店の仏はずに置く花の屑

増田 守

花いかだ川の流れの速さほど

柏尾のり子

幼な子や笑顔片手にカーネーション

平野 邦子

九点

④船頭の櫓のなめらかや水温む

柏尾のり子

(以下省略)

③登り来て媪ひとりの余花の寺

荒木ソル子

八点

①行春や置屋の残る路地の猫

藤本 友子

新しき友の名告げり入園児

藤本 友子

七点

①クレソンや水切りカゴの美しき水

古野 明美

①髪切つてさららふわふわ春が来た

藤崎安紀子

年重ね歩く歩幅の山笑う

浅野ゆき乃

春光のあまねし鯉の太りをり

佐渡谷秀一

さへづりを森林浴の友として

藤本 友子

六点

③春めくや船の描きし白き水脈

辻 幸子

①一族の遺伝子になき花粉症

古野 明美

①梅日和木々の名札を語る

辻 幸子

ふさぎの虫雀の鉄砲吹き鳴らす

岩野ヤエ子

五点

①遠き灯に泛ぶ来し方春の雨

佐渡谷秀一

燕の真一文字や大手門

稲葉 幸

落花踏み百九段の礎のぼる

小川名梅乃

四点

①享保雑澄んだ眼で座す古屋敷

柏尾のり子

振り返り振り返りつつ花の道

平野 邦子

時超えて古里憂し桜花

藤崎安紀子

細き憂しなやかに巻く豆の花

桜井 幸枝

春浅し寂の雨降る寺の門

小川名梅乃